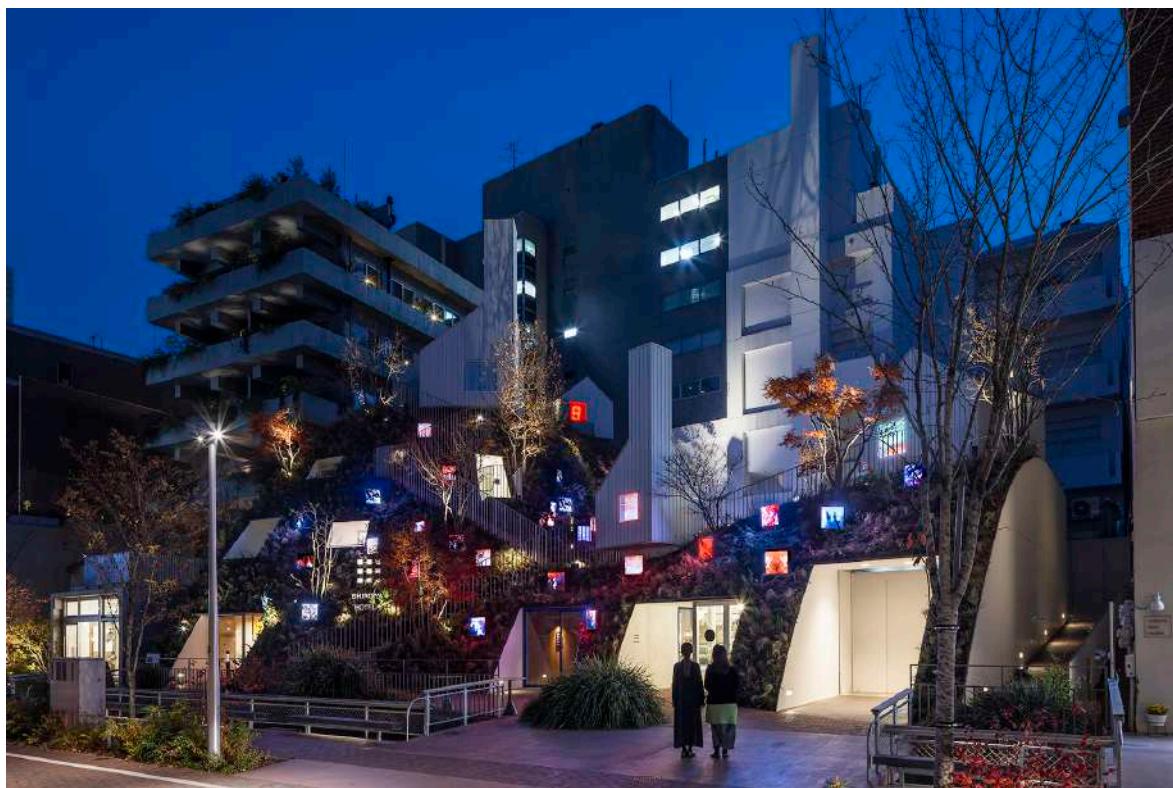


白井屋ホテル 開業5周年記念イベント**「蜷川実花 with EiM at SHIROIYA」****白井屋ホテルアートイルミネーション2025 《Pulse of Lives》開催中****アートイルミネーション2025: 2025年12月1日(月) - 2026年1月12日(祝・月)**

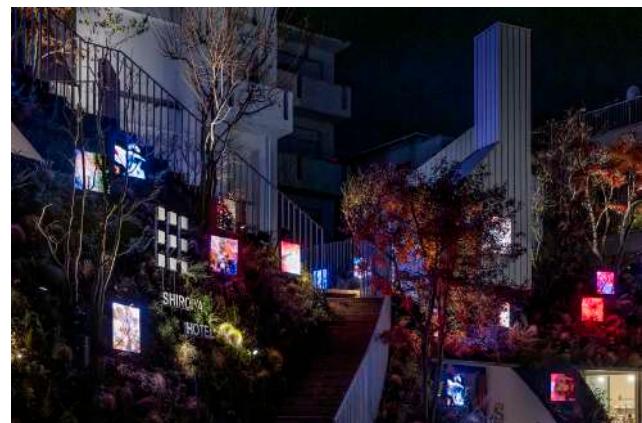
群馬・前橋のアートデステイネーション「白井屋ホテル」(群馬県前橋市本町、総支配人 堀口大樹)は、開業5周年記念のイベントとして、日本を代表するアーティストの蜷川実花(にながわみか)氏および各分野のスペシャリストによるクリエイティブチーム EiM(エイム)とコラボレーション。前橋の冬の風物詩である『アートイルミネーション2025』で作品展示が始まりました。本プロジェクトは科学者・EiM プロデューサーの宮田裕章氏の協力も得て、これまでにない、前橋の地元のみなさま、訪れる方々の心に灯りをともす、かつての記憶や風景にも思いをよせる光と音によるアートイルミネーションとなりました。尚、アートイルミネーションを手がける蜷川実花 with EiM と白井屋ホテルのヘッドシェフ、片山ひろとの料理の饗宴も12月14日(日)までご提供しています。詳しくはホームページをご覧ください。



《Pulse of Lives》 白井屋ホテル グリーンタワー ©Shinya Kigure



《Pulse of Lives》 白井屋ホテル グリーンタワー ©Shinya Kigure



《Pulse of Lives》 白井屋ホテル グリーンタワー ©Shinya Kigure



《Pulse of Lives》 白井屋ホテル グリーンタワー ©Shinya Kigure



《Pulse of Lives》 白井屋ホテル パサージュ ©Shinya Kigure

「蜷川実花 with EiM at SHIROIYA」 白井屋ホテル アートイルミネーション 2025 《Pulse of Lives》

2020年12月に開業した白井屋ホテルは、周年記念として、毎年ひとりのアーティストによる、屋外アートのインスタレーション「アートイルミネーション」をかけています。まちのみなさま、そして前橋を訪れる方々の心を灯す、前橋の冬の風物詩として、毎年どのアーティストが参加するのかが話題になっています。記念すべき開業5周年の白井屋ホテルのアートイルミネーションを手掛けるのは、蜷川実花氏および各分野のスペシャリストによるクリエイティブチームEiM（エイム）です。

■開催期間

2025年12月1日（月）- 2025年1月12日（祝・月）

点灯：毎日 17:00- 23:00

■場所

白井屋ホテル 敷地内

群馬県前橋市本町 2-2-15

027-231-4618

■料金

入場無料

《Pulse of Lives》

建築家・藤本壯介氏が「古代の地形の記憶」を込めた白井屋ホテルの「丘（グリーンタワー）」。それは、かつてこの地を流れた利根川の土手の面影を宿し、都市の再生ヴィジョンを象徴する「いのちの大地」そのものです。そこには、建築という形をとった時間そのものの堆積があります。

本作《Pulse of Lives》は、この「丘」を「記憶の器」としてとらえ、そこから芽吹く光として、約50のLEDモニタに断片的な風景を映し出します。ネオンの光や濡れた舗道、電車の窓に反射する街並み。それら都市の光は、かつてこの地が世界へと「紡ぎ出した」無数の生糸の「糸」のように層をなし、過去と現在、都市とこの土地の記憶を可視化します。その光は呼吸のように揺らぎ、脈動するリズムとなって「丘」に響きます。かつて製糸工場で糸を紡いだ人々の息遣いと、現代都市の雜踏の息遣いが重なり合うとき、観る者は自らの身体の鼓動とも呼応し、忘却のなかに眠っていた「いのちの痕跡」を感じ取るでしょう。

「丘」は、忘却された地形の記憶と、現在進行形の都市の営みが共存する場です。もはや存在しない風景や、誰かがかつて見上げた夜空の断片が、建築という大地から光となってよみがえります。それは失われたものを取り戻すのではなく、忘れたものに新たな光を与える行為です。

アートイルミネーション、館内のアートや緑あふれる空間をゆっくり楽しめたい方は、下記より宿泊のご予約を承ります。

■ご予約&お問い合わせ先

白井屋ホテル

電話番号：027-231-4618

メール：info@shiroiya.com

https://www.shiroiya.com/?tripla_booking_widget_open=search



©Shinya Kigure / ©Takeo Watanabe / ©Takeo Watanabe / ©Shinya Kigure

※夕方 17 時からは「ザ・ラウンジ」にて飲み物やスナックを自由にお召し上がりの上、館内のアート作品もご鑑賞いただけます。

※スタッフによる館内ツアーも毎日実施しています。

蜷川実花（にがわみか）



写真家、映画監督、現代美術家

写真を中心として、映画、映像、空間インсталレーションも多く手掛ける。クリエイティブチーム「EiM（エイム）」の一員としても活動中。木村伊兵衛写真賞ほか数々受賞。2010年ニューヨークのRizzoliから写真集を出版。また、『ヘルタースケルター』（2012年）、『Diner ダイナー』（2019年）をはじめ長編映画を5作、Netflixオリジナルドラマ『FOLLOWERS』（2020年）を監督。これまでに写真集120冊以上を刊行、個展150回以上、グループ展130回以上と国内外で精力的に作品発表を続ける。個展「蜷川実花展 with EiM：彼岸の光、此岸の影」（京都市京セラ美術館、2025年1月-3月）は、25万人を動員。最新の写真集に『Eternity in a Moment vol.1-3』（Akio Nagasawa Publishing & Case Publishing、2024年）がある。<https://mikaninagawa.com>

主な展覧会／

グループ展「I'M SO HAPPY YOU ARE HERE」Palais de l'Archevêché、2024年

グループ展「Tokyo : Art & Photography」アシュモアーン博物館、2021年-2022年

「MIKA NINAGAWA INTO FICTION / REALITY」北京時代美術館、2022年

「蜷川実花展」台北現代美術館（MOCA Taipei）2016年

EiM（エイム）[Eternity in Moment]

蜷川実花と科学者・EiM プロデューサーの宮田裕章、クリエイティブディレクターの桑名功、テクニカルアートディレクターの上田晋也らで結成されたクリエイティブチーム。プロジェクトごとに多様なチームを編成しながら活動する。

主な作品発表／

「胡蝶の旅 Embracing Lights」安比 Art Project、2022年

蜷川実花「残照 / Eternity in a Moment」小山 登美夫ギャラリー 前橋、2023年

「蜷川実花展 Eternity in a Moment 瞬きの中の永遠」TOKYO NODE、2023-2024年

「蜷川実花展 with EiM : 僕も煌めく境界」(弘前れんが倉庫美術館、2024年)

「深淵に宿る彼岸の夢」森の芸術祭 晴れの国・岡山、満奇洞、2024年

「蜷川実花展 with EiM : 彼岸の光、此岸の影」京都市京セラ美術館、2025年



左から 宮田裕章、桑名功、上田晋也

白井屋ホテル（群馬県前橋市本町2-2-15）

ART DESTINATION 五感を刺激するインスピレーションに満ちた美術館のようなホテル

群馬県前橋の老舗旅館が創業300年の歴史を経て、建築家の藤本壯介氏の手により「白井屋ホテル」として蘇りました。廃墟となっていた建物をリノベーションして生まれたコンクリート剥き出しの吹き抜けには、アンドロ・エルリッヒ氏による幻想的な“光のアート”があり、それぞれ異なるアート作品が展示されているゲストルームをはじめ、多様な現代アートやデザインを緑あふれる美術館のような環境の中で楽しめます。敷地内には、フランス発祥、食の本格的ガイドブック『ゴ・エ・ミヨ』4年連続掲載のレストランをはじめ、カフェラウンジ、パティスリー、ベーカリー、バー、茶室、さらには3タイプの個室サウナを併設し、インスピレーションに満ちた滞在を叶えます。白井屋ホテルはミシュランガイドのホテルセレクションに選出されています。



©Shinya Kigure

<https://www.shiroiya.com>



■メディアお問い合わせ先
pr@shiroiya.com
070-3858-7580 (PR担当:守田美奈子)
画像リンク: <https://dtbn.jp/nBDDzvte>

■白井屋ホテルお問い合わせ先
info@shiroiya.com
027-231-4618 (代表番号)